



## 4月になって緑の世界が広がってきます。

「今年の冬」は、近年ではとても「寒い冬」だったと感じています。3月になってからも5～6回「雪」が降り、3月19日は午前中いっぱい「雪」が降っていました。「雪の降る寒い日」もあり、「暖かい日」もあり「三寒四温」とはいえ「寒暖の差が激しい日々」でした。「暑さ寒さも彼岸まで」というように「お彼岸」を過ぎたとたん「初夏」を思わせる暖かな日が続き、3月24日には、「桜の開花」があり、その後約1週間で満開となりました。4月になると、徐々に街は「ペンキ」で塗ったように「緑の世界」が広がってきます。そして、桜に続いて、「チューリップ、カーネーション、クレマチス、芝桜、ハナミズキ」等、「様々な花」が咲き始めます。日差しは初夏に向かって眩しく、明るくなっていきます。そして、4月は新しい生活の始まりです。体調を整えて、明るく、楽しい生活を送ってください。



新緑

ハヤカワ歯科 院長 早川琢郎

## 歯周組織再生療法

「歯周ポケット」の奥の「プラークや歯石」が除去されれば、腫れや痛み、出血などの「炎症」は収まります。しかし、「歯周病」が進行すると、歯の周りの組織が大きく失われ、歯を支えている「歯槽骨」が少なくなると歯の維持が難しくなります。第一段階で「歯周初期治療」を行い、器具が届かないほど「歯周ポケット」が深くなっている場合、「フラップ手術（歯肉剥離掻爬手術）」を行います。歯肉を切開して「歯周ポケット」の奥にある「プラークや歯石、感染した肉芽」を取り除きます。その時、「歯を支える歯槽骨」の欠損が大きい場合、「歯周組織再生療法」が行われます。「特殊な再生材料」を組織の失われた部分に入れて「再生」を促す治療方法で、「再生」には時間がかかり、「組織の欠損」の状態によって「向き不向き」はありますが、うまくいけば「歯の寿命を延ばせる可能性」があります。



## デンタルフロス

口腔内の汚れを取れる割合は理想的に行えば、「歯ブラシだけでは60%」、「歯ブラシ+デンタルフロスで80%」、「歯ブラシ+歯間ブラシで95%」と言われています。しかし「歯間ブラシ」より「デンタルフロス」の方が適している場合も多くあります。「歯周病の軽度な方、小児、10歳代の若者等」の歯間ブラシのはいりにくい方々の「歯間の清掃」に効果的です。また、「歯間に繊維質の食物」などが挟まった時など歯肉を傷めないように楊枝ではなく「デンタルフロス」を使用することをお勧めします。「小児、10歳代の若者の方々」には特に「虫歯予防、初期虫歯の再石灰化」の手助けのため「フッ素入りのデンタルフロス」をお勧めしています。



## 4月のお知らせ

○「ハヤカワ歯科のホームページ」では、「当院の診療方針」や「ハヤカワ歯科インフォメーション」のバックナンバーを掲載しています。これからも、皆様のお役に立つ情報の提供と内容の充実に努めてまいります。

<http://www.hayakawashika.com/>「ハヤカワ歯科松戸市小金原」検索をお願いいたします。

○「小児の歯並び」「咬合育成」「口腔機能向上」のご相談、随時受け付けております。

○お口の機能の維持のための「オーラルフレイルの検査」、「トレーニング」行っています。

日曜診療日(9時～13時30分)

4月6日、20日 / 5月11日、25日